

(3)

公開実用 昭和60— 5684

⑨ 日本国特許庁 (JP)

実用新案出願公開

⑩ 公開実用新案公報 (U)

昭60—5684

⑪ Int. Cl.⁴
B 26 B 13/20

識別記号

厅内整理番号
7336—3C

⑫ 公開 昭和60年(1985)1月16日

審査請求 有

(全 頁)

名理髪はさみ

和歌山市東長町6丁目6番地1
号

公実 願 昭58—97318

引出 願人 峰勇

登出 願 昭58(1983)6月23日

和歌山市東長町6丁目6番地1
号

参考案者 峰勇

明細書

1. 考案の名称

理髪はさみ

2. 実用新案登録請求の範囲

環指柄、母指柄の長さが伸縮出来る様に環指孔、母指孔の大きさをそれぞれ特大形、大形、中形、小形、極小形としたものを、鉄体と柄の部分で離脱、結合が出来る構造とした理髪はさみ。

3. 考案の詳細な説明

従来よりの理髪はさみの大きさは、大形、中形、小形に分類され、

大形は要孔中心から鉄先までが11楳で

中形は要孔中心から鉄先までが10楳で

小形は要孔中心から鉄先までが9楳であり母指孔、環指孔の大きさはほぼ一定の大きさであるため、男性、女性をとわず指の大、小が各人各様に異なるので指孔の大きさに合いにくく、使用しにくい欠点があり、人によっては柄の長さも長短を必要とするものであったが洋の東西を問わず、理髪はさみは殆んど古来より同一的に製作され今日に至っている。

本考案は其等の欠点や不便さを解消する目的を以て永年

(1)

726

実開60-5684

公開実用 昭和60- 5684

の体験と研究によって漸くに考案開発された理髪はさみに関するものである。第1図及び第2図は理髪はさみの各部分の名称に就て説明するものである。

即ち、第1図は動刃、第2図は静刃の全体図を示し、第1図の1は動刃、3は母指孔、5は母指柄、7は接点(ヒットゴム)、9は鉗要(ネヂ)、11は鉗身(裏)、13は鉗背、15は鉗先、17は触点であり、第2図の2は静刃、4は環指孔、6は環指柄、8は小指掛、10は鉗要(孔)、12は鉗体、14は元部、16は中部、18は先部を示したものである。

本考案を構成する機構は第3図、第4図、第5図、第6図に表示する様に、環指関係部分と母指関係部分と離脱、接結合部分と離脱結合具とに分別して図示した。即ち、第3図は環指関係図であり、19は特大環指孔で内径を16～18耗とし、20は大形環指孔で21は小指孔でそれぞれ内径を15耗～17耗、小指孔を13耗～14耗としたもので、22の中形は中指を環指とを差し込むことの出来る本考案独特の指孔で横14耗、縦32耗とし、23の小形の孔の内径は13～15耗とし、極小形の24の孔内径は11～13耗としたもので、25、25'、25''、25'''はそれぞれ柄の離脱、接合、結合部を線で示したものである。

第4図は母指関係の部分図であり、26は特大の母指孔を

示し、その内径は21耗～24耗で27は大形母指孔内径を18耗～21耗とする。28は中形母指孔内径が16耗～18耗で29の小形母指孔内径は14耗～16耗とし30の極小形母指孔内径を13耗～15耗としたものを示す。31、31'、31''、31'''は母指柄と鉄体との離脱、結合位置を示したものである。第5図は、鉄体と柄との結合、離脱部分の横断面図と縦断面図とを示すもので、32、33、34、35、36は環指の特大形、大形、中形、小形、極小形の縦断面図で37、38、39、40、41は母指の特大、大、中、小、極小の順での母指柄母指孔、小指掛までの縦断面図で、42、43、44、45、46は環指柄、母指柄それぞれの鉄体との結合、離脱部分の横断面図を示すものでありその結合離脱部の形状構造が理解出来る様に表示したもので、それぞれ円形、角形、三角形を示し、円形螺旋溝のものは縦断面にて表示した。第6図は、別個の円筒形状のもので鉄体と各柄とを結合離脱を可能としたもので、これにも円形、四角形、三角形を使用することが出来るが円形が経済的である。その形状は即ち、第6図の47、47'は各形状の正面、背面、上面、底面図で49は左、右、側面図で、50、50'はその縦断面図である。

上述の通り本考案を構成する理髪はさみの各部に就いての図面の詳細な説明により本考案による効果を説明すれ

公開実用 昭和60— 5684

ば、第一に千差万別の母指環指に合う様に鉄の柄の長さ指孔の大きさを簡単に離脱、接合、結合することで誰にでも自由に素早く出来ることであり、第二には作業が極めてしやすくなり、指を傷める事がなくなり、鉄が各人の指に合うので仕事を習う者も教える者の神経の浪費をしなくてよい様になった。作業能率が向上した。技能が早く習得出来且つ、技能の向上に役立つ効果をも發揮する等の多くの特効を挙げるに至ったことは本考案の最も特質とする処であり、他に類例を見ぬ優位性、優秀性を顕著に現わすは、本考案になる理髪はさみである。

4. 図面の簡単な説明

第1図は 理髪はさみの動刃

第2図は 理髪はさみの静刃

第3図は 静刃の柄の環指孔部と結合部図

第4図は 動刃の柄部での母指孔部と結合部図

第5図は 静刃、動刃、各柄部の結合構造の切断面図

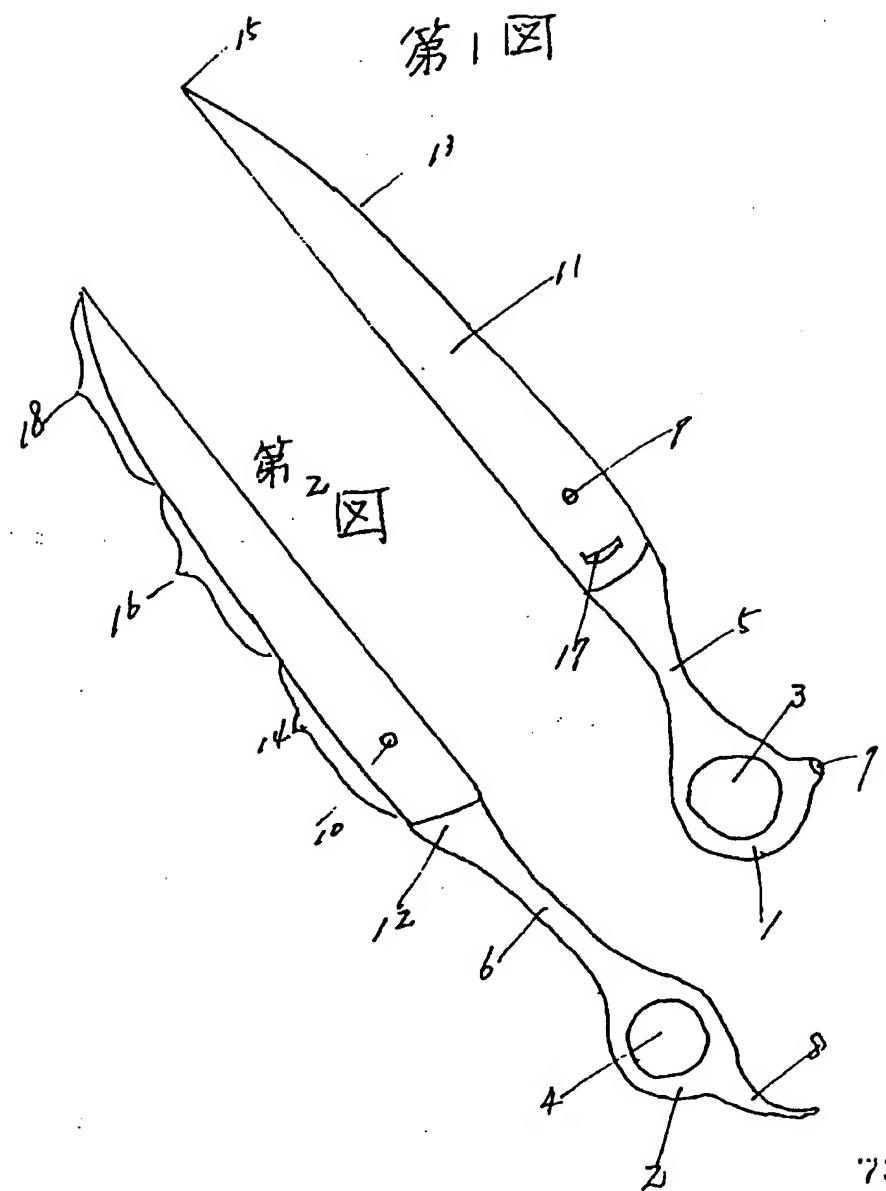
第6図は 静刃、動刃の各外側面よりの結合具と結合状態切断面図である。

実用新案登録出願人

峰 勇

(4)

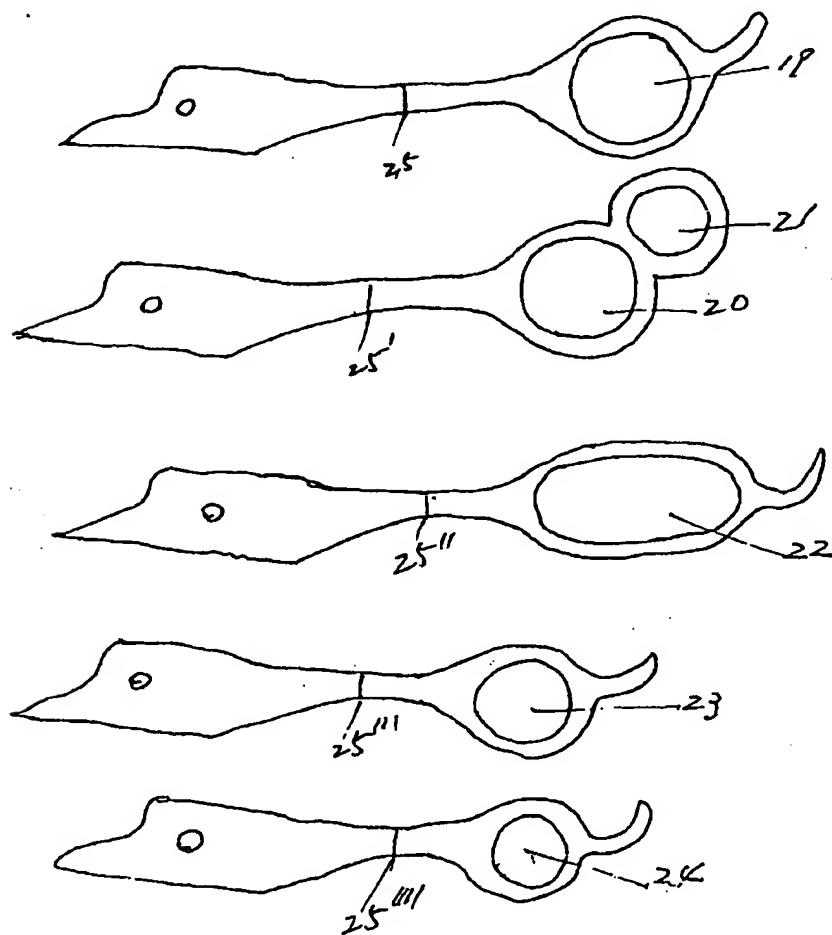
729



実開60-5684

公開実用 昭和60- 5684

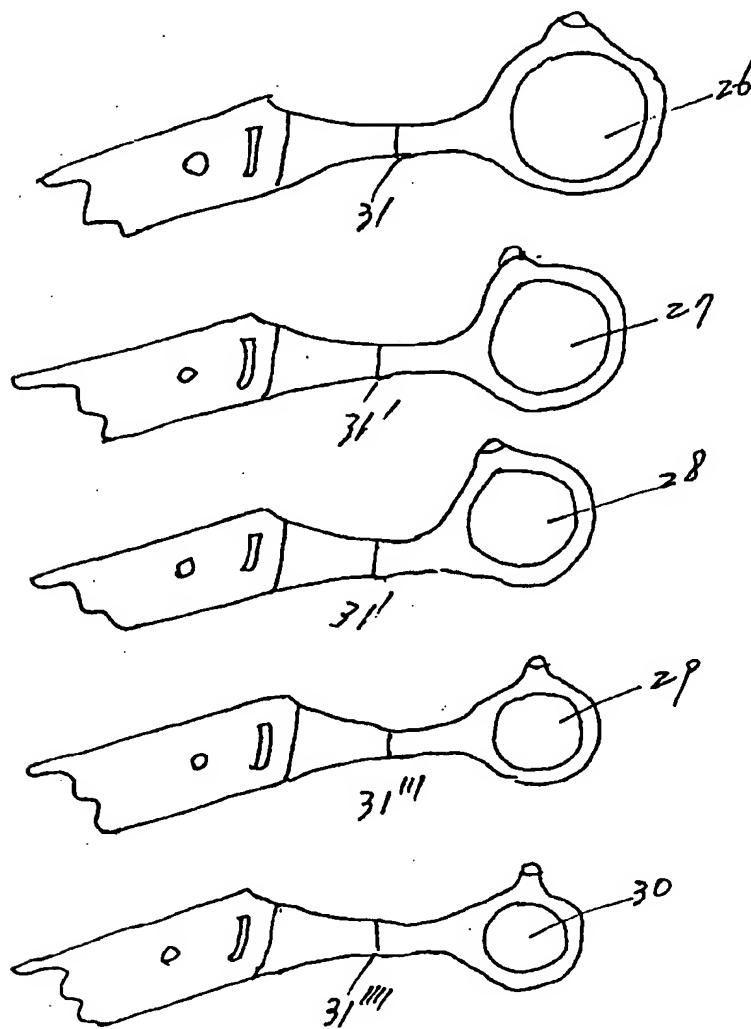
第3図



731

実開60-5684

第4回

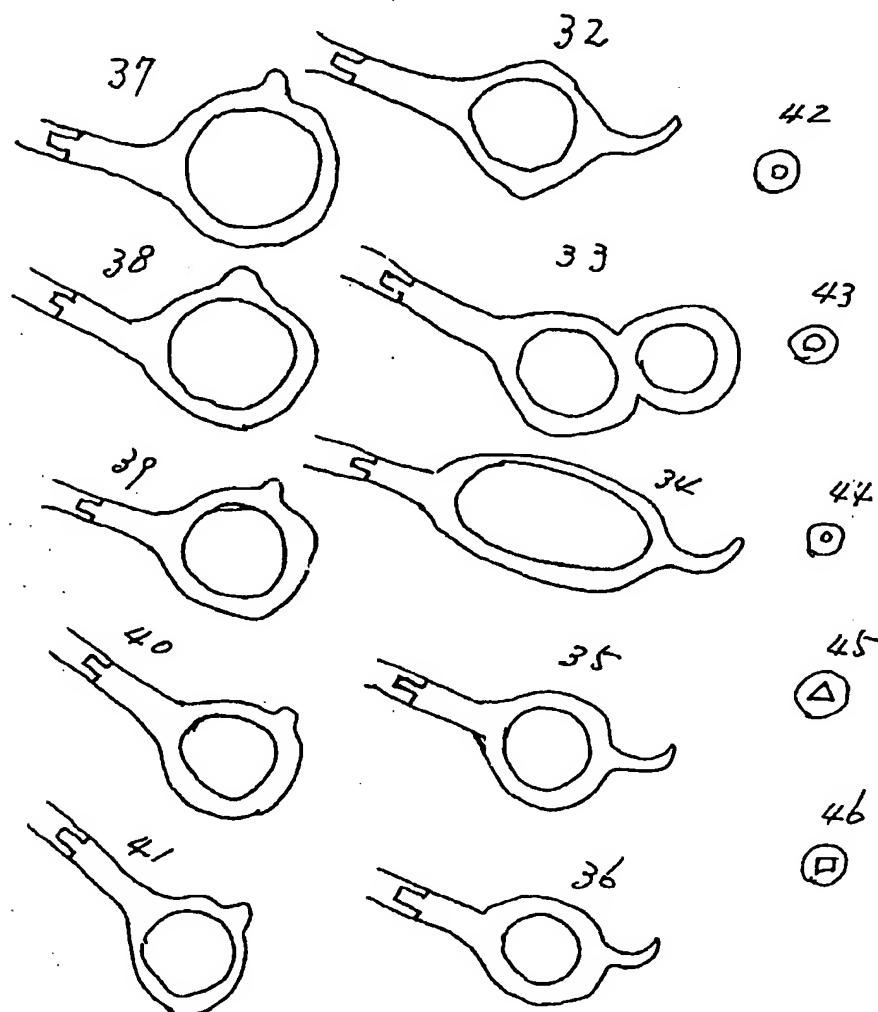


732

実開昭 60-5684

公開実用 昭和60— 5684

第5図



733

実開昭 60-5684

第6図



実用新案登録出願人 岸 勇

734

実開60-5684 1

This Page is inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

BLURED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

SKEWED/SLANTED IMAGES

COLORED OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

GRAY SCALE DOCUMENTS

LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

REPERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images
problems checked, please do not report the
problems to the IFW Image Problem Mailbox**